

亘理町立逢隈中学校トイレ増築工事

設計図

令和 7 年 3 月

 株式会社 楠山設計

業務番号	06-11	設計完了年月	2025.03		
承認	作図(建築)	作図(電気)	作図(機械)	作図(その他)	ISO 最終検査

建築意匠		建築構造		電気設備		機械設備	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A -01	特記仕様書 1	S-01	構造特記仕様書-1	E-01	電気設備改修工事特記仕様書（1/2）	M-01	機械設備改修工事特記仕様書
A -02	特記仕様書 2	S-02	構造特記仕様書-2	E-02	電気設備改修工事特記仕様書（2/2）	M-02	案内図・配置図
A -03	特記仕様書 3	S-03	ボーリング柱状図	E-03	電気設備 外構図（改修後）	M-03	暖房設備 改修後 各階平面図
A -04	特記仕様書 4	S-04	各部配筋標準図（1）	E-04	電気設備 外構図（改修前）	M-04	換気設備 改修後 各階平面図
A -05	特記仕様書 5	S-05	各部配筋標準図（2）	E-05	受変電設備結線図（参考）	M-05	給排水衛生設備 改修後 器具表
A -06	特記仕様書 6	S-06	各部配筋標準図（3）	E-06	電灯盤結線図・照明器具姿図	M-06	給排水衛生設備 改修後 1階平面図
A -07	特記仕様書 7	S-07	鉄骨構造標準図（1）	E-07	電灯設備 1階平面図	M-07	給排水衛生設備 改修後 2階平面図
A -08	特記仕様書 8	S-08	鉄骨構造標準図（2）	E-08	電灯設備 2階3階平面図	M-08	給排水衛生設備 改修後 3階平面図
A -09	特記仕様書 9	S-09	ⅡA'－SNE0工法設計施工標準	E-09	電灯設備 平面詳細図	M-09	給排水衛生設備 改修後 各階平面詳細図
A -10	特記仕様書 1 0	S-10	ⅡA'－SNE0工法 各種寸法及び基礎柱形設計例	E-10	火災報知設備 系統図	M-10	給排水衛生設備 撤去 1階平面図
A -11	敷地現況図、敷地求積図	S-11	Q L デッキ合成スラブ設計・施工標準	E-11	拡声設備・トイレ呼出設備・自動火災報知設備 1階平面図	M-11	給排水衛生設備 撤去 3階平面図
A -12	案内図、配置図	S-12	G - E C S パイル工法設計施工標準	E-12	拡声設備・トイレ呼出設備・自動火災報知設備 2階3階平面図		
A -13	仕上表、面積表、建物求積図	S-13	杭伏図・基礎伏図兼ビット伏図・1階柱1階梁床伏図				
A -14	1階全体平面図	S-14	1～3階柱2～R階梁床伏図				
A -15	2階全体平面図	S-15	軸組図1				
A -16	3階全体平面図	S-16	軸組図2				
A -17	ビット平面図、1階平面図	S-17	R C 部材リスト				
A -18	2階平面図	S-18	鉄骨部材リスト				
A -19	3階平面図、屋根伏図	S-19	鉄骨詳細図				
A -20	立面図						
A -21	断面図						
A -22	矩計図						
A -23	平面詳細図、展開図						
A -24	天井伏図、建具キープラン、建具表						
A -25	雑詳細図1						
A -26	雑詳細図2						
A -27	雑詳細図3（建具改修）						
A -28	外溝詳細図1（舗装、雨水排水、既存自転車置場）						
A -29	外溝詳細図2（駐車場、フェンス、倉庫詳細図）						
A -30	外溝詳細図3（自転車置場詳細図）						
A -31	仮設計画図						
A -32	現況1階平面図						
A -33	現況2階平面図						
A -34	現況3階平面図						
A -35	日影図						
A -36	防火区画図						

実 施

記 事	<div><div></div><div>株式会社 楠 山 設 計</div></div>			仙 台 市 青 葉 区 一 番 町 三 丁 目 3 番 1 6 号 オ ー ・ エ ッ ク ス 芭 蕉 の 辻 ビ ル T E L (0 2 2) 2 2 4 - 1 2 0 7		一 級 建 築 士 事 務 所 第 2 3 1 1 0 1 8 2 号 宮 城 県 知 事 登 録 第 2 0 7 9 0 8 号 板 垣 俊 也 登 録		設 計 者 承 認 設 計 部 月 日 縮 尺		工 事 名 図 面 名		No.
								R7.03.25	-	亘理町立達隈中学校トイレ増築工事	図面リスト	A-00

建 築 工 事 特 記 仕 様 書【令和6年4月版】		⑧. 建築材料等		材料の品質等(1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
工 事 概 要		環境への配慮(1.4.1) 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。		ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合の建築材料 1) J I S 及び J A S の 品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のある J A S 適合品 a . 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b . 接着剤等不使用 c . 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d . ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e . 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用	
1 工事番号・名称 令和7年度 亘理町立達隈中学校トイレ増築工事		⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定		ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定(1.5.9) 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造所の定める仕様により行う。	
2 工事場所 宮城県亘理郡亘理町達隈牛袋字南西河原2-6他				測定対象物質 ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm) スェルボン(濃度指針値 220 μg/m3 ・ 0.05ppm) トリクロロエチレン(濃度指針値 260 μg/m3 ・ 0.07ppm) 四塩化エチレン(濃度指針値 3,800 μg/m3 ・ 0.88ppm) トルエン(濃度指針値 200 μg/m3 ・ 0.05ppm)	
3 用途地域等 都市計画区域(○内・外) 用途地域(第一種住居地域、準工業地域) 防火地域等(・防火・準防火・指定なし ○22条) その他の地域・地区()				測定する室等：(1階 前室、男子トイレ、女子トイレ 計3箇所)	
4 主要用途 中学校				採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。	
5 敷地面積 20,086.87㎡				測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器	
6 工事の概要 ・トイレ(S造3階建て)の増築 ・自転車置場の新設 ・既存倉庫の基礎新設 ・既存駐車場の白線引き直し工事 ・既存校舎の内装、建具改修				測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。	
7 別途工事				・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。	
8 その他				室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。	
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の 印のもので構成する。 ○ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書				「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
建 築 工 事 仕 様		10. 特別な材料の工法		⑪. 建築基準法による風圧力等の指定 (9.4.4)(10.5.3)(13.2.3、3.3、4.3)(14.7.3)(16.13.2、14.5)(23.5.4) 適用工事 建築基準法の指定 ・ 合成高分子系ルーフィングシート工法 風速(V0) 30 ・ ・ 外壁乾き工法 ・ 長尺金属板葺 地表面粗度区分 ・ ・ 折板葺 ・ 粘土瓦葺 多雪地域の指定 ・有 ・無 ・ アルミニウム笠木 ・ オーバーヘッドドア ・ ガラスブロック ・ 屋上緑化	
1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。) 「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。		12. 設計G.L.		(1.5.2) 下 表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 下 表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 下 表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。	
章 項 目 特 記 事 項		13. 技 能 士		図 示 ・ 現状平均地盤高	
①. 一般事項				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
1 一般共通事項				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
②. 適用基準等				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
3. 概成工期				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
④. 工事実績情報(CORINS)の登録				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
⑤. 発生材の処理等				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
発生材の処理(1.3.11) ・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() 受入れ施設名・所在地(km) ○再生資源化を図るもの 種 類 受 入 施 設 名 所 在 地 (Km) 備 考 ・セメントコンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・建設汚泥 ・現場において再利用を図るもの() ・その他の廃棄物(安定型)() 受入れ施設名・所在地(km) ・その他の廃棄物(管理型)() 受入れ施設名・所在地(km) 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
⑥. 電気保安技術者				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
⑦. 事故報告				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。				①. 仮囲い 2 仮設工事 ②. 危害防止 ③. 交通誘導員 ④. 揚重機械器具 ⑤. 監督職員事務所 ⑥. 工事表示板 7. 事業コスト表示板 ⑧. 工事用水 ⑨. 工事用電力 ⑩. 工事用通路 ⑪. 足場等 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。	

金属工事		①. 支持地盤		(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)	
左官工事		4 地業工事		・杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・図示による	
建具工事				○直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・図示による ○構造図による ・地盤の載荷試験(平板載荷試験) ・行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による	
カーテンウォール工事				(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)	
塗装工事				杭の種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490	
内装工事				杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等	
排水工事				種類 杭径 厚さ 杭長 継手数 セット数 長期設計支持力(kN/本) 備 考	
舗装工事				試験杭 上杭 中杭 下杭	
植栽工事				本 杭 上杭 中杭 下杭	
⑭. 完成図等		⑮. 完成写真			
⑯. 完成写真		⑰. 火災保険等			
⑰. 火災保険等		18. 住宅瑕疵担保責任			
18. 住宅瑕疵担保責任		19. 省エネ計算変更手続			
19. 省エネ計算変更手続		①. 仮囲い			
①. 仮囲い		2 仮設工事			
2 仮設工事		②. 危害防止			
②. 危害防止		③. 交通誘導員			
③. 交通誘導員		④. 揚重機械器具			
④. 揚重機械器具		⑤. 監督職員事務所			
⑤. 監督職員事務所		⑥. 工事表示板			
⑥. 工事表示板		7. 事業コスト表示板			
7. 事業コスト表示板		⑧. 工事用水			
⑧. 工事用水		⑨. 工事用電力			
⑨. 工事用電力		⑩. 工事用通路			
⑩. 工事用通路		⑪. 足場等			
⑪. 足場等		3 土工			
3 土工		①. 埋戻し及び盛土の種別			
①. 埋戻し及び盛土の種別		②. 建設発生土の処理			
②. 建設発生土の処理		3. 有害物質含有調査			
3. 有害物質含有調査					

8

コンクリートフラット板工

押出成型セメント板工

4

押出成形セメント板

9

防水工事

1

アスファルト防水

ECPの種類等

(8.5.2～5)(表8.5.1～2)

パネルの種類	形状	長さ(mm)	幅(mm)	工法の種類	備考
・外壁パネル	○F ・D ・T	・50・60・ ・50・60 ・60	600	・A種 ・B種	
・間仕切壁パネル	・F ・D ・T	・50・60・ ・50・60 ・60	600	・A種 ・B種	

(注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

・ 図示による

パネル相互の目地幅

○長辺(10mm)短辺(15mm)

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)

15

耐火構造以外の目地及び隙間の処理

パネルの製造所の仕様

屋根保護防水

防水層の種類

(9.2.2～5)(表9.2.3～9)

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・A1-1		(種類)	フラットヤーンクロス70g/㎡程度
・A1-2		JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種a(スキン層付き)	
・A1-3			
・B1-1		(厚さ)(mm)	
・B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ 水下80mm以上

床タイル張り 水下60mm以上

立上り部の保護工法

・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)

・窯業系パネル類厚さ()mm幅()mm

・れんが押え(JIS R 1250)

・コンクリート押え

・モルタル押え(屋内)

屋根露出防水

防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料
			種類 使用量
・D-1		標準仕様書9.2.2(9)(種類)	○アスファルトルーフィング製の製造所の仕様
・D-2			
○DI-1	屋根	○硬質ウレタンフォーム(厚さ)(mm)○50mm	
・DI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.8による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による

絶縁断熱工法のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

・ 図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法のだきき装置の種類及び設置数量

種類

アスファルトルーフィング製の製造所の指定

設置数量

アスファルトルーフィング製の製造所の指定()個

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層

・設ける(図示による)

・設けない

E-1の工程3を行う部位

貯水槽、浴槽等常時水に接する部位

防水層の下地の立上り

コンクリート打放し立上り部の保護工法 標準仕様書表6.2.4のB種

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法

アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

防水層の下地のモルタル塗り

○適用する(施工範囲 図示による)

・適用しない

屋上排水溝 図示による

2

改質アスファルトシート防水

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

4

塗膜防水

屋根露出防水

防水層の種類

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1～3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料	備考
				種類 使用量	
・AS-T1		標準仕様書(9.3.2(3)(9)(種類)・(厚さ)(mm)・設けない	・設ける(改質アスファルトシート・の製造所の仕様)・設けない	改質アスファルトシート・の製造所の仕様	
・AS-T2					
・AS-T3					
・AS-T4					
・AS-J1					
・AS1-T1					
・AS1-J1					

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法

アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

アスファルトルーフィング製の製造所の指定

設置数量

アスファルトルーフィング製の製造所の指定()個

防水層の種類

(9.4.2～4)(表9.4.1～3)

種別	施工箇所	可塑性移行防止シートの材質	断熱性	仕上塗料	備考
				種類 使用量	
・S-F1				カラー・シルバー	
・S-F2					
・S-M1				カラー・シルバー	
・S-M2					
・SI-F1		標準仕様書9.4.2(3)(I)(b)		カラー・シルバー	
・SI-F2					
・SI-M1		標準仕様書9.4.2(3)(I)(a)		カラー・シルバー	
・SI-M2					

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様

非歩行仕様

・軽歩行仕様

SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム

・設置する

・設置しない

屋内防水

防水層の種類

種別	施工箇所	保護層
・S-C1		平場の保護モルタル塗厚7mm以下

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

標準仕様書表9.4.1～表9.4.2による

固定金具の材質、形状及び寸法

厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれらの銅板の両面に樹脂を積層加工したもの

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

種類

ルーフィングシート・の製造所の仕様

設置数量

ルーフィングシート・の製造所の仕様()個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理

・行う(図示による)

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)

・行う(図示による)

・行わない

防水層の種類

(9.5.3)(表9.5.1、2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備考
		種類 使用量		
・X-1		カラー・シルバー		
・X-2		カラー・シルバー		
・Y-1	地下外壁防水			
・Y-2	屋内防水			

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量

種類

主材料の製造所の仕様

設置数量

主材料の製造所の仕様()個

5

ケイ酸質系塗布防水

6

シーリング

7

防水保証

10

石工事

1

施工

2

石材等

防水層の種類

(9.6.4)(表9.6.1)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・C-SUI	ビット床、壁	・C-SUP	

防水層の下地

壁

コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)

天井部

コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)

下地処理(コンクリートの打継ぎ箇所の処理)

打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。

・ 図示による

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。

ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所

シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所(図示による)

シーリング材の目地寸法

○標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による

○ 図示による

接着性試験

簡易接着性試験

・引張接着性試験

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。

塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

石材の割付け

図示による

(10.1.3)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・ 図示による			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無

・あり

・なし

テラズブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
・大理石	・花こう岩	1.5～12	・平もの	・片面			
			・役もの	・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
・大理石	・花こう岩	1.5～12	・300型		
			・400型		

その他の材料

取付け用モルタル

専門工事業者の指定する製品

既調合の目地モルタル

専門工事業者の指定する製品

浸透性吸水防水剤

専門工事業者の指定する製品

石裏面処理材

専門工事業者の指定する製品

裏打ち処理材

専門工事業者の指定する製品

ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35

金物の固定に使用する充填材料等

専門工事業者の指定する製品

3

外壁湿式工法

4

内壁空積工法

5

外壁乾式工法

受金物

材質

SUS304

形状及び寸法

・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm

アンカーの材質及び寸法

材質

SS400

寸法

あと施工アンカーの材質、寸法等

種類

材質

寸法

ドレンパイプ

・設ける(設置位置: 図示による)

・設けない

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

下地こしらえ

あと施工アンカー・横筋流し工法

あと施工アンカー工法

・流し筋工法

目地

一般目地

・目地モルタル(目地幅)

・既調合の目地モルタル(目地幅)

シーリング材(種類 標準仕様書表9.7.1による)

(目地幅及び深さ)

伸縮調整目地

位置

・ 図示による

シーリング材の種類

標準仕様書表9.7.1による

目地寸法

幅・深さとも10mm以上

・ 図示による

受金物

材質

SUS304

形状及び寸法

・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm

あと施工アンカーの材質、寸法等

種類

材質

寸法

石裏面処理

・適用する

・適用しない

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

下地こしらえ

あと施工アンカー・横筋流し工法

あと施工アンカー工法

一般目地

・目地モルタル(目地幅)

・既調合の目地モルタル(目地幅)

・シーリング材(種類 標準仕様書表9.7.1による)

(目地幅及び深さ)

伸縮調整目地

位置

・6m程度

シーリング材の種類

標準仕様書表9.7.1による

目地寸法

乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等

標準仕様書表10.2.4による

(方式: スライド方式 ロッキング方式)

・ 図示による

あと施工アンカーの材質、寸法等

種類

材質

寸法

だば用の穴の位置

標準仕様書10.5.2(2)(7)による

・ 図示による

裏打ち処理

・適用する

・適用しない

シーリング材

種類

標準仕様書9.7.1による

目地幅及び深さ

実

施

記事

株式会社 楠山設計

仙台市青葉区一筆町三丁目3番16号
オー・エックス芭蕉の辻ビル
TEL (022) 224-1207

一級建築士事務所
宮城県知事登録 第23110182号
板垣俊也 登録 第207908号

設計者

承認

設計部

月日

縮尺

工事名

図面名

No.

佐藤 徹哉

一級建築士登録 第390867号

R7.03.25

-

亙理町立達隈中学校トイレ増築工事

特記仕様書 3

A-03

15

左官工事

7 . マスチック塗材塗り

⑧ . ロックウール吹付け

9 . しっくい塗り

10 . こまい壁塗り

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）

・吹付用軽量塗材

・こて塗用軽量塗材

防火材料

種別

・A種

・B種

（15.7.2）

ロックウールのホルムアルデヒド放散量

F

接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

仕上げ吹付け厚さ

図示による

○25mm

・

（15.12.2、3）

しっくい

（15.10.2～4）

・既調合材料

色しっくい

・適用する

・適用しない

・現場調合材料

下地

・せっこうボード

・せっこうラスボード

・モルタル塗り

・木ずり

・こまい

・下塗りをせっこうプasterとし上塗りに使用する場合

・

既調合しっくいの調合

・せっこうボード下地

標準仕様書表15.10.1

・

・モルタル塗り下地

標準仕様書表15.10.2

・

・せっこうラスボード下地

製造所の仕様による

・

現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚

・木ずり下地

標準仕様書表15.10.3

・

・せっこうプaster下地、こまい下地

標準仕様書表15.10.4

・

既調合しっくいの上塗り仕上げ工法

・なで切り仕上

・パターン仕上げ

（15.11.2～5、7、8）

のり

・土壁用ののり

つのまた

・ふのり

・ぎんなんそう

・粉末海藻

・

・砂壁用ののり

ふのり

・つのまた

・こんにゃくのり

・にかわ

・合成高分子系混和剤

・

色土

・土物仕上に用いる色土の種類（

）

・大津仕上に用いる色土の種類（

）

色砂の種類

・天然砂と岩石の砕砂

・人工的に着色・製造したもの

下塗りの調合

標準仕様書表15.11.2

・

塗厚

標準仕様書表15.11.8による

・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（

）

・

こまい壁の工程

A種

・B種

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上の工法の種類

・土物仕上工法

・水ごね土物1工法

・水ごね土物2工法

・のりさし土物工法

・のりごね土物工法

・砂壁仕上工法

・切返し仕上工法

こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上の工法の種類

・普通大津仕上工法

・大津みがき仕上工法

ちりじゃくり

・図示による

・

16

建具工事

1 . 防火戸

2 . 見本の製作等

3 . 防犯建物部品

建具表による

・

建具見本の製作

・行う（建具符号：

）

行わない

・

建具見本製作の目的等

・

特殊な建具の仮組

・行う（建具符号：

）

行わない

・適用する（・建具表による

・

）

適用しない

（16.1.3）

（16.1.4）

（16.1.6）

④ . アルミニウム製建具

性能値等

（16.2.2、4、5）（表14.2.1）（表16.2.1、2）

耐風圧性の等級（○S-6）

（建具符号 ○ 全て）

気密性の等級（○A-4）

（建具符号 ○ 全て）

水密性の等級（○W-5）

（建具符号 ○ 全て）

外部に面する建具の種別

・A種（建具符号 ・ 建具表による

）

○B種（建具符号 ・ 建具表による

○全て

）

・C種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・D種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・E種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

枠の見込み寸法（70mm ・

）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

材料

ステンレス鋼板

SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

HL

・

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別

BB-1

・BB-2

（標準仕様書表14.2.1）

着色

標準色

・特注色

屋内の建具

種別

BC-1

・BC-2

（標準仕様書表14.2.1）

着色

標準色

・特注色

結露水の処理方法

・水貯め式

○排水式

工法

水切り板、ぜん板

図示による

木下地の場合の内付け建具

・適用しない

・適用する

5 . 網戸等

（16.2.3）

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製	・0.25mm以上	・16～18メッシュ
・防鳥網	・ガラス繊維入り合成樹脂製	・	・
	・ステンレス(SUS316)製		
	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 . 樹脂製建具

性能値等

（16.2.5）（16.3.2～5）（表16.3.1～3）

耐風圧性の等級（

）

気密性の等級（

）

水密性の等級（

）

外部に面する建具の種別

・A種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・B種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・C種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・D種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

・E種（建具符号 ・ 建具表による

・

）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（・T-1

・T-2

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（・H-4

・H-5

・H-6

・H-7

・H-8

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

・

枠の見込み寸法

建具表による

・

材料

ガラス

複層ガラス（組合せは建具表による）

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

HL

・

形状及び仕上げ

表面色

・標準色

・特注色

工法

水切り板、ぜん板

図示による

木下地の場合の内付け建具

・適用しない

・適用する

7 . 鋼製建具

性能値等

（16.2.2）（16.4.2～4）（16.4.6）（表16.4.2）

簡易気密型ドアセット

適用する

（建具符号 ・

）

適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

8 . 鋼製軽量建具

性能値等

（16.2.2）（16.5.2～4）（16.5.6）（表16.5.1）

簡易気密型ドアセット

適用する

（建具符号 ・

）

○適用しない

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

材料

鋼板

○亜鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・カラー鋼板

・ステンレス鋼板

ステンレス鋼板

SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

召合わせ、縦小口包み板の性質

鋼板

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

HL

・

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ（mm）

標準仕様書表16.5.1による

・

使用箇所（

）

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法

建具表による

○詳細図による

9 . ステンレス製建具

性能値等

（16.2.2）（16.4.2）（16.6.2～5）

簡易気密型ドアセット

適用する

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

○適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

断熱ドア・断熱サッシ

断熱性の等級（

）

（建具符号 ・ 建具表による

・

）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

材料

ステンレス鋼板

SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

ステンレス製のくつずりの仕上げ

HL

・

形状及び仕上げ

表面仕上げ

HL

・鏡面仕上げ

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工

普通曲げ

・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））

・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））

10 . 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率

（16.7.2～4）

A種

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

F

・

・フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等

標準仕様書16.7.2(2)(f)(a)による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 板面の品質（広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木 化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・MDF		

11 . 建具用金物

金物の種類及び見え掛け部の材質等

（16.8.2、3）（表16.8.1～5）

標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による

・

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

標準仕様書表16.8.2による

・建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

標準仕様書表16.8.3による

・建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

標準仕様書表16.8.4による

・建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール

標準仕様書表16.8.5による

・建具表による

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置

○建具表による

・

12 . 鍵

マスターキー

（16.8.4）

○製作する

・製作しない

鍵の製作本数

各室3本1組（室名札付き）

・

鍵箱

有り

・無し

13 . 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式

（16.9.2、3）

・建具表による

・

引き戸用駆動装置

性能値

標準仕様書表16.9.1（防錆
・適用する
・適用しない）

・以下による

種類・開閉方式（

）

耐電圧（

）

温度上昇（

）

耐久性（サイクル）（

）

防錆（

）

電源（

）

・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置

性能値

標準仕様書表16.9.2（防錆
・適用する
・適用しない）

・以下による

耐電圧（

）

温度上昇（

）

耐久性（サイクル）（

）

防錆（

）

電源（

）

・引き戸用検出装置

性能値

標準仕様書表16.9.3（防錆
・適用する
・適用しない）

・以下による

耐電圧（

）

防錆（

）

防滴（

）

電源（

）

引き戸用検出装置の種類

標準仕様書表16.9.4

・建具表による

・

タッチスイッチの種類

・無線式タッチスイッチ

・光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房スイッチの種類

・大形押しボタンスイッチ

・非接触スイッチ

凍結防止措置

・行う

行わない

14 . 自閉式上吊り引戸装置

性能値等

（16.10.3）（表16.10.1）

標準仕様書表16.10.1

・以下による

手動開き力（

）

手動閉じ力（

）

閉じ速度の調整（

）

制動区間（

）

開閉繰返し（

）

耐衝撃性（

）

記事

④. トイレブース

20

ユニット及びその他の工事

5. 手すり

6. 階段滑り止め

7. 黒板及びホワイトボード

⑧. 鏡

⑨. 表示

⑩. タラップ

11. 煙突ライニング

12. ブラインド

(20.2.5)

(20.2.6)

(20.2.7)

(20.2.9)

(20.2.10)

(20.2.11)

(20.2.12)

(20.2.13)

(20.2.14)

表面材の材料

脚部

ドアエッジ

種類

材質

メラミン樹脂系化粧板（標準色）

幅木タイプ

製造所の仕様による

・ポリエステル樹脂系化粧板

・

・アルミニウム製

・ステンレス製

材料の種類及び仕上げ

・SUS304

表面処理

HL程度

・鋼製

表面処理

溶融亜鉛めっき

（標準仕様書表14.2.2による種別（

）種）

・アルミニウム

表面処理

（標準仕様書表14.2.1による種別（

）種）

色合い

・標準色（

）

・特注色（

）

手すりの握り部分

材種

表面仕上げ

直径(mm)

取付箇所

備考

・集成材

・クリアラッカー

・35程度

・45程度

・35程度

・45程度

・ビニル製

材種

区分

焼き付け

種類

鋼製黒板

・はつろう黒板

色

緑

・ホワイトボード

取付け箇所（前室、男子トイレ、女子トイレ）

寸法（mm）

○図示による

厚さ（mm）

5

衝突防止表示

・設置する（設置場所：図示による）

形状・寸法（30

）

材質（ステンレス製

）

・設置しない

誘導標識、非常用進入口等の表示

消防法に適合する市販品

室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等

(案内用図記号はJIS Z 8210による)

図示による

材質及び仕上げ

○SUS304（スリップ止め加工あり

・なし）

・鋼製

表面処理

溶融亜鉛めっき

（標準仕様書表14.2.2による種別（C種

）種）

適用安全使用温度

工法

鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

縦型ブラインドのスラットの材質

・アルミスラット

焼付け塗装仕上げ

・クロススラット

消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13. ロールスクリーン

14. カーテン

15. カーテンレール

16. ブラインドボックス及びカーテンボックス

⑰. 天井点検口

⑱. 床点検口

19. 耐震スリット

20. 止水板

21. くつふきマット

(20.2.15)

(20.2.16)

(20.2.16)

(20.2.16)

(20.2.16)

(20.2.16)

(20.2.16)

(20.2.16)

操作方法

スクリーンの材種

その他の材料

幅・高さ取付箇所

品質等

・スプリング式

・コード式

・電動式

・ガラス繊維製

・合成・天然繊維製

・木製

スクリーンの仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

形式

開閉操作

ひだの種類

生地の種類、品質、特殊加工等

取付け箇所

・シングル

・片引き

・ダブル

・引分け

・手引き

・ひも引き

・電動

・つまみひだ

・箱ひだ、片ひだ

・ブレンひだ

生地の仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり

300mm以上

材料による区分

・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材

ステンレス製

強さによる区分

10-90

仕上げ

アルマイト

形状

角形

材種

・集成材（仕上げ：アルミニウム製

押し成型材（市販品）

標準仕様書表14.2.1による種別

BC-1種

・BC-2種

色合い

・標準色（

）

・特注色（

）

・鋼製（仕上げ：

）

材種

寸法

形式

外枠

内枠

アルミニウム製

450×450

・600×600

○一般形

○一般形

・屋内外用

・額縁タイプ

・額縁タイプ

・気密形

・目地タイプ

・目地タイプ

材種

寸法

形式

備考

アルミニウム製

450×450

600×600

○一般形

○一般形

・屋内外用

○鍵付き

・鋼製

・屋内用

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。

方向

幅(mm)

タイプ

耐火性能

防水性能

備考

・垂直

・25

・完全（全貫通型）

・耐火型

・有り

・無し

・水平

・25

目地

目地

内壁

外壁

目地材

・シーリング材(見え掛かり部のみ)

・シーリング材(見え掛かり部のみ)

・シーリング材（内外とも）

目地寸法（mm）

・スリット幅×深さ10

・スリット幅×深さ10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

形式

○差込式

・据置式

・壁張り式

施工箇所

○図示による

材種

受け枠

備考

塩化ビニル又はゴム製

・ステンレス鋼（SUS304）

・硬質アルミニウム合金製

・硬質アルミニウム合金

・ステンレス鋼（SUS304）製

・

22. 流し台ユニット

23. 旗竿

24. 旗竿受金物

25. 車止めさく

26. フェンス

27. プレキャストコンクリート

28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

29. 鋼製書架及び物品棚

30. 屋内掲示板

③1. 洗面カウンター

32. 防煙垂れ壁

材種

寸法（mm）

備考

・流し台

・1200

・550

・800

市販品

・600

・600

・850

トラップ付き

・1800

・650

・600

・670

天板ステンレス製

・600

・550

・620

市販品

・600

・600

・670

バックガード有り

・650

・500

・700

天板ステンレス製

市販品

形状

図示による

材種

形式

高さ(m)

操作方法

固定方法

備考

アルミニウム合金製

・テーパー式

・同一断面式

・ハンドル式

・埋込式

・ロープ式

・バンド式

材種

ステンレス製（SUS 304）

形式

材種

柱径、肉厚(mm)

高さ(mm)

・上下式鎖内蔵式

・標準品

・ステンレス製

・スプリング式

フェンスの種類

・ビニル被覆エキスパンドフェンス

・樹脂塗装メッシュフェンス

・鋼管フェンス

・アルミフェンス

高さ

・図示による

コンクリートの設計基準強度

水セメント比55％以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を

満足する調合強度

・図示による

配筋

配筋を定めた計算書を監督職員に提出する

・図示による

取付け方法

図示による

種類

種類

質量区分

備考

・間知石

・花こう岩

・凝灰岩

-

-

・A

・B

積み方

谷積み

・布積み

目塗り

・図示による

伸縮調整目地

材種

・図示による

厚さ

・図示による

種類

規格等

JISによる種類

・鋼製書架

JIS S 1039 の規格による

・1種

・2種

・3種

・鋼製物品棚

・4種

・5種

・6種

枠の材質

アルミニウム製

表面の材質

塩ビ発泡シート張り

材種

・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）

・人工大理石

奥行き（mm）

・約450

・約600

・固定式

材質

厚さ(mm)

高さ(mm)

備考

・網入り磨き板ガラス

6.8

500

アルミ製枠付き

・線入り磨き板ガラス

・可動式

種類

材質

高さ(mm)

備考

・垂直降下式（巻取り型）

不燃布

・800

ガイドレール

（不燃認定品）

・固定式（壁埋込型）

・可動式（天井収納型）

・回転降下式

鋼板製又はアルミ製

500

・800

表面仕上げ

天井材張り

降下機構

煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

33. 屋外掲示板

34. 収納家具

21. 排水工事

①. 屋外雨水排水

②. 鉄製製ふた

③. グレーチング

4. 街きよ、緑石及び側溝

照明器具

有り

・無し

施錠

・有り

・無し

製造所

・

合板類、MDF 及びパーティクルボードの

